

平成 26 年 3 月 28 日
公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会

「日本万国博覧会記念基金事業」を 4 月 1 日に承継

～約 190 億円の基金の運用益で国際相互理解の促進に資する活動や文化的活動等に助成～

公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会（理事長・堀井良殷）では、独立行政法人 日本万国博覧会記念機構（理事長・中井昭夫）が 4 月 1 日に解散されるのに伴い、同機構の基金事業を承継。「日本万国博覧会記念基金」（約 190 億円）を承継して、同機構が行ってきた日本万国博覧会の成功を記念するに相応しい国際相互理解の促進に資する活動や文化的活動に対する助成金の交付を行ってまいります。あわせて、その運用益の 2 分の 1 を大阪府の「日本万国博覧会記念公園事業特別会計」に寄附します。

当協会では、従来から取組んできた関西・大阪での文化振興活動に、「万博記念基金事業」や、先に発表した民による新しい文化支援組織「アーツサポート関西」による助成事業を新年度から加えることで、「振興と助成」を活動の両輪に、関西・大阪での文化の振興を図るとともに、「万博記念基金事業」では支援エリアを関西から全国、さらには世界に広げ、「人類の進歩と調和」の推進に貢献してまいります。

また当協会は、4 月 1 日より協会の既存事業を担う「文化事業部」と「アーツサポート関西事業部」、「万博記念基金事業部」、「総務部」の 4 部体制とし、活動拠点も関西経済連合会や関西経済同友会など関西の経済団体が入居する「中之島センタービル（29 階）」に移し、経済界との連携のもとに、関西、日本、そして世界の発展のために、「振興と助成」の両輪の活動を展開して行きます。

— 記 —

1. 承継する資産、負債

資産：日本万国博覧会記念基金など 約 192 億円

負債：未払金など 約 1.3 億円（金額は平成 26 年 3 月 31 日予定）

5. 平成 26 年度の交付決定事業例

①認定 NPO 法人 ミュージック・シェアリング「訪問プログラム 2014」

(事業形態) 公演・展示、(助成金交付決定額) 270 万円

- ・ヴァイオリニストの五嶋みどりさん(ミュージックシェアリング理事長)と世界からオーディションで選ばれた若手演奏家と一緒に、日本国内の小学校、特別支援学校、児童養護施設、母子施設、病院、矯正施設等を訪問し、無償でコンサートを行い、演奏家と児童達との音楽を通したコミュニケーションを図る。
- ・音楽家とのふれあいや生の音楽演奏に触れる機会が少ない子供たちのクリエイティビティを育てるだけでなく、若手演奏家の社会貢献活動に対する理解も深め、音楽を受容する側、提供する側、双方にとって有益な活動を目指すもの。
- ・平成 23 年度にも「日本万国博覧会記念基金」による助成を行い、活動後の事後評価も大変高かった。(添付写真ご参考)今回は、演奏家の移動のための交通費や国外からの渡航費、宿泊費、印刷費、会場借上費等の一部として総額 270 万円の助成金を交付決定。

②ウィーン世界博物館「1872 年製の大名屋敷模型の修復事業」

(事業形態) 施設建設・整備、(助成金交付決定額) 540 万円

- ・日本政府が初めて公式参加した万博である 1873 年のウィーン万博に出展した「江戸時代の大名屋敷模型」を修復・再現するもの。
- ・復元予定の模型は、屋根瓦、畳、襖など江戸時代の技術を駆使して作成された非常に精巧なもので、当時の日本の建築スタイル、生活様式、及び職人技術の高さが窺える。オーストリアと日本の交流に詳しいドイツ・ボン大のパンツァー名誉教授は、「日本文化を紹介し、世界に踏み出すきっかけにしようとした明治政府の意気込みが伝わる貴重な史料」と評価されている。(ウィーン=共同)
- ・世界博物館では、この貴重な文化財を多くの人々に知ってもらうために、2016 年頃に関く日本常設展の目玉として一般公開する予定。
- ・クリーニング、破損個所の修復、展示準備などの建設整備費に加えて、修復に関するノウハウを持つ京都工芸繊維大の研究者の渡航費等の一部として総額 540 万円の助成金を交付予定。

◎お問い合わせ先：公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会

担当：木村明則(万博記念基金事業)、西村もゆる(広報)

Email：kimuraa@osaka21.or.jp

TEL：06-7507-2003 / FAX：06-7507-5945

※写真データをご希望の方はご連絡お願いします。

平成 23 年度に助成したミュージック・シェアリングの「訪問プログラム」から



「四万十市立津野川小学校」で演奏する五嶋みどりさんと若手演奏家達



「黒潮町立上川口小学校」で演奏する五嶋みどりさんと若手演奏家